



Yancle community 代表
宮崎 成悟

<経歴>

1989年生まれ。立教大学卒業。

16歳の頃から現在まで、難病で寝たきりの母を介護。

新卒で大手医療機器メーカー入社するが、3年目で介護離職。
その後、株式会社エス・エム・エス、ヘルスケア系ベンチャー、医療
ビッグデータ解析企業などを経て、ボーダレス・グループに入社。

若くして親や祖父母、きょうだいのケアを担うヤングケアラー（若年介護者）の社会的孤立という問題を解決すべく、Yancle株式会社を創業。就職支援事業を撤退し、コミュニティ運営と啓蒙活動を中心に活動。

オンラインコミュニティ

- slackを用いたオンラインコミュニティ
- 参加者約150名程度
- 日々の悩みや眩きの投稿、zoomを利用した定期的なオンライン会合の実施

就職・転職支援

- 介護と仕事で悩む若者の就労支援
- これまで約100名程度の相談を受ける
- 企業の介護に対する無理解と、介護をしている若者を受け入れる会社がほとんどないことを痛感する

15歳頃から多系統萎縮症の母の介護(18歳未満)

- 15歳:母の異変に気づき、サポートが必要だと感じる。車で送り迎えをしてもらったり、お弁当を作ってもらうことができなくなった。
- 16歳:買い物や病院の付き添いなどの簡単なケア。自分の服は自分で洗濯するなど自律を求められた。
- 17歳:母は1人では生活できない状態に。家の中での階段の上り下りや家事など生活全般のサポートをする。
- 18歳:夜中に母を背負ってトイレに連れていくなど、常に気にしている状態。部活を休むことも。

15歳頃から多系統萎縮症の母の介護(18歳以上)

- 19歳: ほぼ寝たきりになった母。喀痰吸引、車椅子への移行補助、食事・投薬など介護漬けの生活。大学進学を一旦あきらめる。
- 20歳: 姉のサポートを受けつつ、介護をしながら何とか受験勉強をする。
- 21歳: ようやく大学に進学するも、介護と講義の予定が合わず、年間で8単位しか取れない結果に。もちろんサークルやバイトはほぼできない。
- 22歳: 家族で上手くやりくりして、なんとか大学に通い始めるが、周囲との違いに苛まれ、孤立していた。
- 23歳: 弟が介護を手伝ってくれるようになり、だいぶ楽になり、しっかりと大学に通うことができた。
- 24歳: 介護しかしていない学生生活では、就職活動で何もPRできなかった。苦労の末、何とか一社に内定をもらう。
- 27歳: 実家の介護の負担を軽減せねばと思い、離職。

ライフステージごとに抱える悩みや課題が異なる

高校生まで

- 部活や遊びに参加できない
- 勉強する時間がない
- 友達に相談できない
- なんとなく辛い

高校卒業後 (専門学校や大学)

- 大学に行く時間がない
- アルバイトをする時間がない、でもお金も必要
- 部活動やサークル等の本来当たり前に行えることができない
- 友達に相談できない
- 周囲と比較してコンプレックスを感じる

社会人

- 全国転勤ができない、やりたい仕事ができない
- 介護を理由に仕事を休めない、上司に理解されない

若ければ若いほど、自分の置かれた状況の説明が難しい

1

自分が介護をしているという認識がない

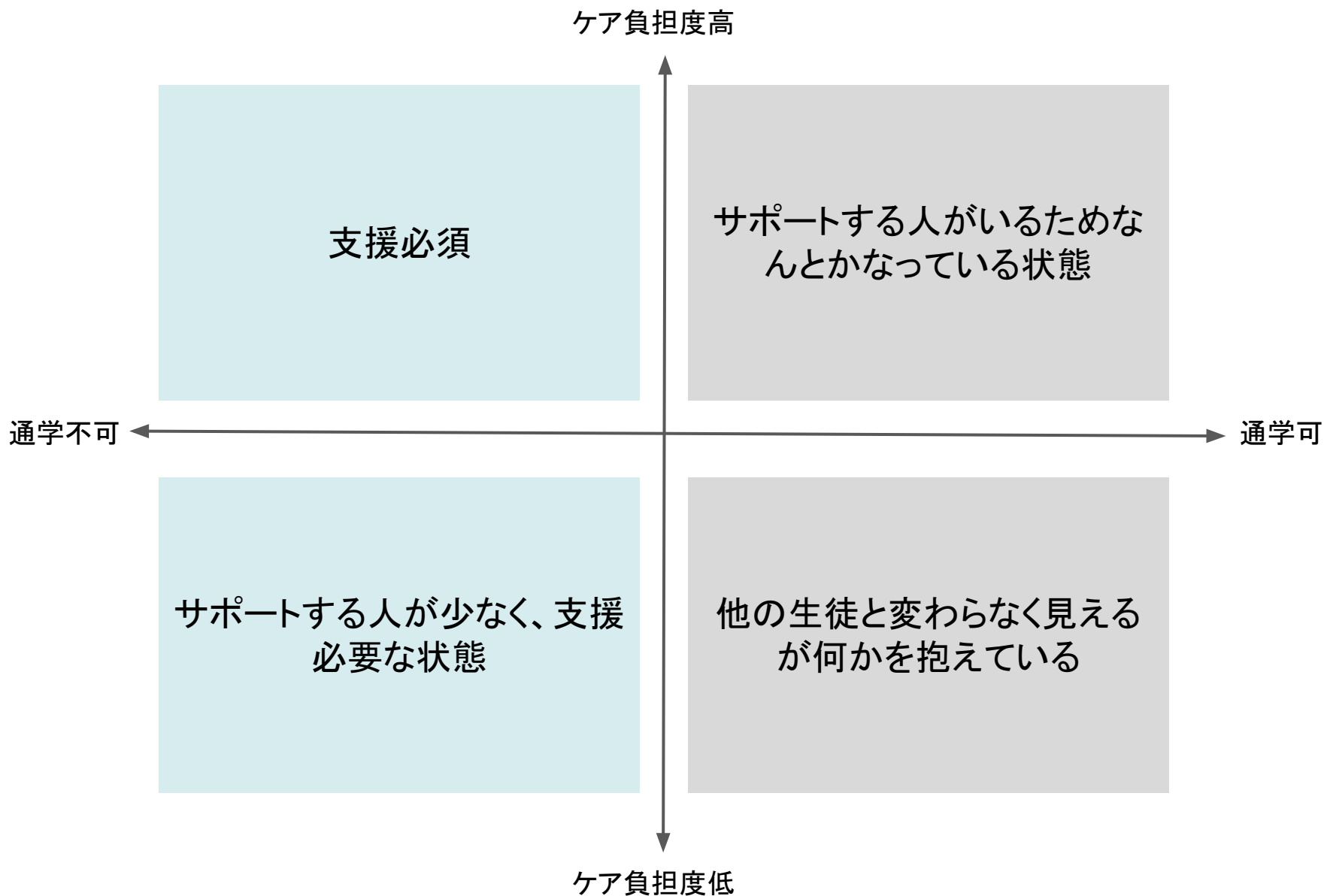
- ・家族の手伝いをしている
- ・当たり前のことをやっている

2

介護をしていることはわかっているが、その悩みを上手く言語化できない

3

漠然とした悩みはあるが、特段辛いとは感じていない



早急に福祉に繋げる必要のある人と、心理的ケアを必要としている人に別れる

福祉が必要

心理的ケアが必要

状況

- 現状の体制では明らかに通常の生活ができない状態
- 側にいる大人が非協力的であり、子供自らが福祉と連携を取る必要があるが、それができない状態

- 家族のケアをしながら普通に生活はできているが、友達と遊べなかったり、部活を休んだり等、学校生活に少々支障をきたしている
- 家族のケアをしているからといって、具体的に何が辛いかわからないが、漠然と不安や寂しさなどを抱えている

支援

- 学校の先生とソーシャルワーカーが連携を取り、適切な福祉へと繋いでいく

- 近くにいる信頼できる大人が相談にのる、子供の心理の専門家が相談にのる

1

相談相手がいないことによる孤立

- ・若くして介護している人が身近にいない
- ・年齢の離れた大人に話しても理解されない

2

仕事との両立に関する不安

- ・時間的制約によって両立が難しい
- ・この先のキャリアプランを描けない

3

将来的な生活の不安

- ・結婚や出産などが難しい
- ・介護の出費によるお金の不安

20代
学生

就活が進んでいない。学業との両立が難しい。気が滅入ってしまうことが多い。

感情的になり、学業などに手がつけられなくなる。

20代
学生

30代
主婦

今後が心配、先が見えない。

就職や相談相手などなど。

20代
無職

20代
会社員

これまでの後悔や今後の不安を、友達に共感してもらえない、相談できない。

自身の婚期、やりたい仕事等ができていない状況。このままできないまま年を重ねるのか。遊びにいても、常に親の状態を心配し、心から解放されて休まったということはない。

20代
学生

20代
学生

ただ、分かりあえて、話を聞き会う人と繋がりたい。

再就職の足かせである。家族仲の悪化。病気と分かっているけど腹立たしい。その感情を長年愛してくれた祖母に向けてしまう自分が嫌だ。

20代
無職

20代
公務員

同年代に相談できない。

将来への不安。働けない。

20代
フリーランス

20代
主婦

周りは出産ラッシュなのに、終わりの見えない介護でいつ妊活できるのか。

祖母が急に風邪を引いたり、認知症の症状が進行して周りの人に迷惑をかけたりしたときに自分の時間を削って対処しなければならないことがつらいと思っている。他の家族からはあまり協力してもらえないし理解してもらえていないことが悲しい。

20代
学生

20代
公務員

障害のある兄弟の将来について、自分の結婚について、**共感してもらいたい。**

きょうだいに関して否定的な事を **周りの人に言えない**のが辛い。

20代
医師

20代
学生

親亡き後が不安、**周りに相談する人がいない。**

感情の行き場がない。奇声や歯ぎしり等被介護者の出す音が苦手で不快なため、介助の時に困る。

20代
不明

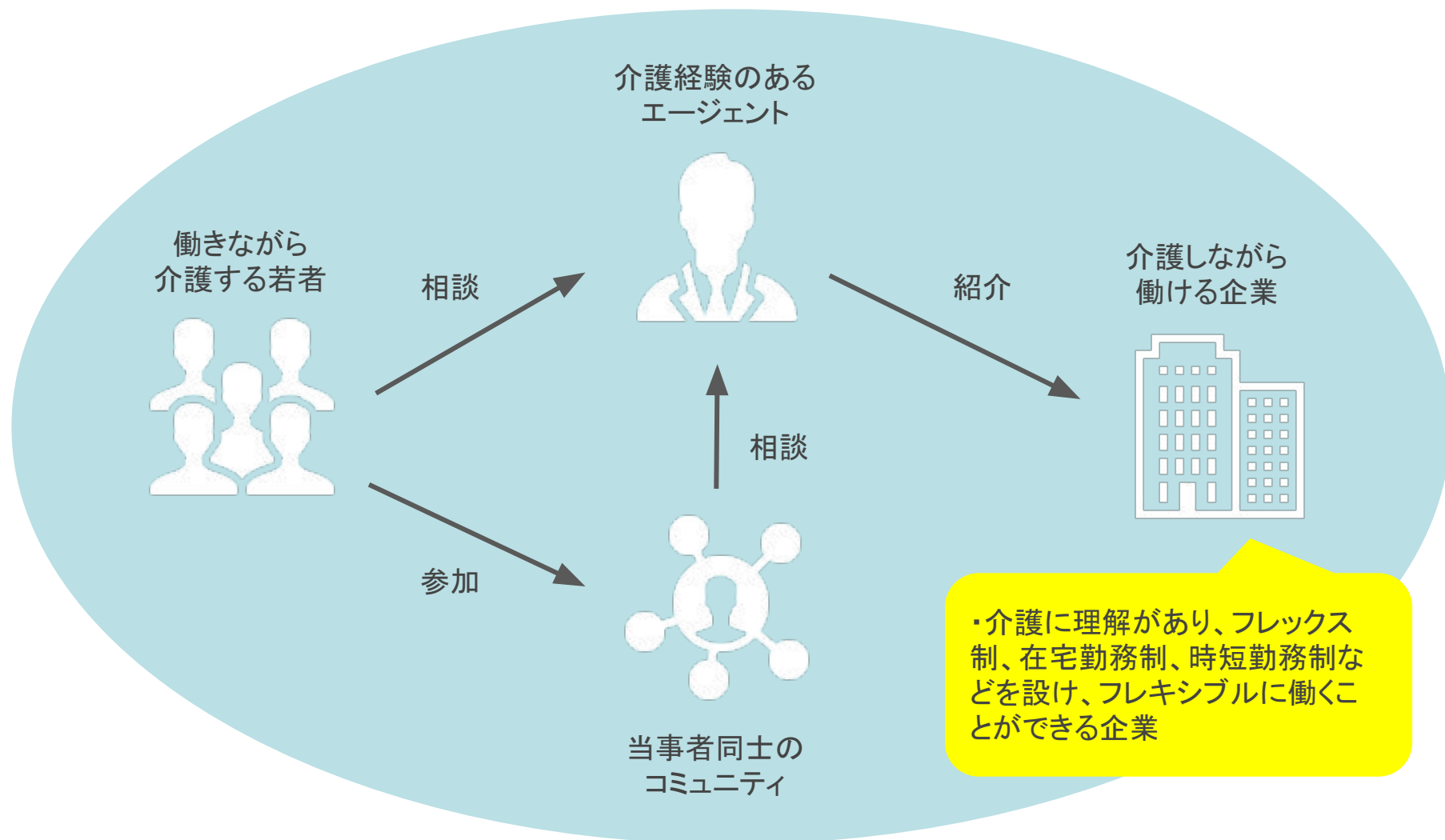
20代
学生

自分のきょうだいはそこまで障がいがかたくないのではないかと感じてしまうが、実際に家族として生活していると、かなり手一杯に感じてしまうこと。

母が倒れた今、私も結婚して家を出ているので、何回も実家に帰っている状態を何とかしたい。**母の通院もきょうだいの通院もある。**父に頼めるところは頼んでいるが、父は母が何とかするだろうとっていて、後遺症がある状態で介護をさせているときがある。

20代
学生

介護経験のあるエージェントが、働きながら介護する若者の転職支援



【ヤングケアラー】

学校における発見と、福祉へのアクセス、そして相談先を設置して心理的ケアを行うこと。

【若者ケアラー】

相談先の設置と、当事者同士の繋がりを作る。企業の意識改革を行い、介護をしている人が取り残されない就労環境を作ること。